

ほけんだより

2021年12月1日

大宮みちのご保育園

新型コロナウイルス感染は落ち着いてきましたが、新たな変異株が出るなど、まだ安心はできません。この時期は胃腸炎やインフルエンザなど冬の感染症流行の時期と重なり心配が続きます。朝晩冷え込むようになり、日中との寒暖差が大きくなりました。ウイルスに負けないからだ作りで、体調を崩さないようにしていきましょう。



☆感染症予防のために☆

これからも続けましょう



てあらい・うがい



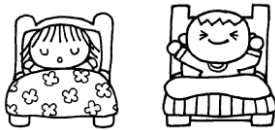
人ごみを避けてマスク着用



水分補給



バランスの良い食事



早寝早起き



適度な湿度（60%）と換気



予防接種

寒い季節になると、暖房器具や鍋物などでやけどをすることが多くなります。子どものやけどの原因は、普段の食事でのみそ汁やめん類・シチューをこぼしたことによるものが多いそうです。胸やおなか、足など、やわらかい部分に広範囲にかかり、塩分を含むので心配です。気をつけたいですね。



やけどをしたときの 応急ケア



やけどをしてしまったら、とにかく冷やすのが一番。流水で冷やすのが基本です。衣服の上からやけどをした場合は、むやみに脱がさず、衣服の上から冷やします。水ぶくれができたときは、つぶれないように保護します。冷やした後は、病院で診てもらいましょう。



◎内科健診・歯科検診を行いました

内科健診で心配があった子や、歯科検診でむし歯や気を付けた方が良くと指摘されている子は、早めに受診して確認してください。受診結果は担任までお知らせください。